

Design Dialogue 1

私の『好き』から始まる未来

4.25(土) 13:00-16:00

江の島ヨットハウス2階 大会運営室
15歳-20代の方

Enoshima Yacht House Tournament Operations Room, 2F
15-20s

Design Dialogue 2

ミドルエイジ、僕らの企画会議

5.31(日) 13:00-16:00

藤沢市役所本庁舎6階 6-1会議室
30代以上の方

Fujisawa City Hall Conference Room 6-1, Main Bldg 6F
30+ years old

Design Dialogue 3

私を生きる、私たちのこれから

6.21(日) 10:30-13:30

ココテラス湘南5階 Cocco Station
子育て中/子育てを考えている方

Cocco Station Cocco Terrace, 5F
Parents raising children /
Considering starting a family



Fujisawa OUR Project
設計対話 シリーズ
Okuda Urban Renovation Project
生活・文化拠点再整備事業

Design Dialogue 2

ミドルエイジ、僕らの企画会議

設計対話シリーズの第2回目は、30代以上の「大人たち」が主役の開かれた企画会議。仕事でも家庭でも責任ある役割を担い、ふと立ち止まった時に考える「これから」のこと。「これからの人生、自分は何を面白がって生きていこう？」まちをもっと自由に遊び尽くすために、自分のこれからの人生を彩る場所にするために、本音で語り合います。

Speakers

トークセッションスピーカー



小林 一匡 会社員/ままごと屋主人

13歳で映画に魅了されて40年。CMのプロデューサー業を経て、マネージメントを続けながら映画制作を企画する。料理家の妻と共に8年前に葉山に移住し、畑仕事や料理をすることで、それまでに培われた価値観を整理し始める。妻が3年前に他界し、共に食卓を囲むことの力に気づく。予約制の食事会「ままごと屋」を主宰しながら、描きたいテーマが見つかり、映像化を計画中。



玉置 純子 stillwater

設計対話シリーズの企画・運営を手掛けるstillwaterの創業メンバーの一人。株式会社イデー、環境プロジェクト「ap bank」、株式会社スマイルズを経て、2012年にstillwaterを設立。分析、企画、開発、文筆を通して、そこにある価値を言葉とビジュアルで伝えることを得意とする。日々の暮らしの中で、感性と感受性をひらいていくことを大切にしたいと、活動を続けている。



遠山 浩司 JTB コミュニケーションデザイン

OUR Projectの運営チームメンバー。開館後の運営予定者。自分の暮らしたい街は自分たちの手で創り出したい。藤沢や逗子や都内で、地域の文化を自分たちの手で拓いていく地域施設や場づくりをプロデュースし、2025年まで逗子文化プラザホール館長を務めた。複合施設をこよなく愛する。絶賛ミドルエイジクライシス。趣味は子どもと湘南のローカルプロジェクト巡り。

Schedule

当日のスケジュール

2026年5月31日(日)

13:00-16:00 (開場・受付開始 12:30)

13:00 OUR Project について

第一部:

13:10 「僕、私のこれまでと現在地」

スピーカー3名によるトークセッションと、参加者の皆さんの自己紹介を兼ねた対話を通して、それぞれの現在地を確認していきます。

第二部:

14:50 「第三の場があったら
トライしたいこと」

少し先の「これから」に目を向けて、新たな施設を舞台にトライしたいことを考えていきます。

16:00 アンケート / 終了

Registration

申込方法

参加費: 無料

募集人数: 30名(先着順 / 事前申込制)

※藤沢市にゆかりのある方

企画政策課ホームページの申し込みフォームにて申込

受付期間: 4月27日(月)10:00-5月22日(金)23:59



詳細・申込

Access

会場アクセス

藤沢市役所本庁舎6階6-1会議室

神奈川県藤沢市朝日町1-1

JRおよび小田急「藤沢駅」北口より大船方面へ徒歩5分